



国土交通省



九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

平成 30 年 3 月 14 日

記者発表資料

大淀川清流ルネッサンスⅡの総括評価を行います。

水環境改善緊急行動計画「清流ルネッサンスⅡ」とは、大淀川水系大淀川の上流域（都城盆地）を対象に、水質及び水量の改善を図るため平成16年6月に策定したものです。

計画基準年である平成12年度当時、大淀川上流域では「生活排水対策の遅れ」「家畜排せつ物の不適正処理」「畑地への過剰施肥」等の課題があり、川の水質が良好とは言えない状態が続いていました。

行動計画の施策メニューには、「下水道整備」などの生活排水対策や「家畜排せつ物の適切処理」、「施肥対策」の負荷源対策、水辺空間の整備・河川環境の維持などが含まれています。

策定当初、平成22年度を計画目標年として設定していましたが、最終評価（平成25年3月）の結果、目標水質が未達成であったことから、目標年度を平成27年度へと延長し、取組みの継続・強化を図ってきました。

今回の協議会では、現行行動計画の総括評価を行う予定です。

大淀川清流ルネッサンスⅡ協議会 地域協議会

日時：平成30年3月19日(月)14:00～15:30

場所：宮崎県木材利用技術センター

内容：1)規約改正 2)目標水環境の改善状況について
3)取組施策の進捗状況について 4)今後の協議会について

取材について：

- ・協議会は報道関係者を対象に公開します。(傍聴・取材可)
- ・取材を希望される場合は事前に問合せ頂くか、当日受付までお申し込み下さい。

発表記者クラブ

宮崎県政記者クラブ、宮崎市政記者クラブ

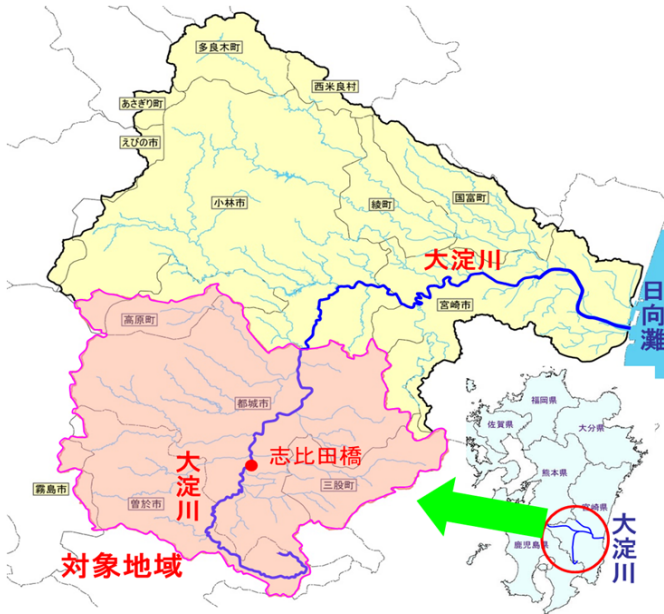
問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所
TEL:0985-24-8221 (代表)
技術副所長：飯田 茂幸 調査第一課長：西野 公雄

●大淀川上流域の課題(H9～H11当時)

(1) 大淀川上流域の課題 (H9～H11当時)

大淀川上流域は、生活排水対策の遅れ、家畜排せつ物の不適正処理、畑地への過剰施肥、森林の保水能力の低下、都市化による地下水かん養量の低下などにより、川の水質が良好と言えない状態が続いていた。



大淀川上流域の水質の状況	
BOD 数値が高いほど汚れている	
志比田橋付近 3.3mg/ℓ	全国平均 1.1mg/ℓ
全窒素・全リン 数値が高いほど汚れている	
志比田橋付近 全窒素 3.9mg/ℓ	全国平均 1.1mg/ℓ
志比田橋付近 全リン 0.32mg/ℓ	全国平均 0.052mg/ℓ
糞便性大腸菌群数	
志比田橋付近 2,200個/㎖	水浴場の判定基準 1,000個/㎖

●行動計画の目標

(1) 計画目標年度

現況基準年度	平成12年度 (2000年度)
計画目標年度	平成27年度 (2015年度)

(2) 目標とする水環境のイメージ

- ・豊富な水資源を未来にわたって保全し、多様な自然環境を創造する
- ・川童 (かわがき：川で遊ぶ子供達) が安全で安心して遊べる水環境を目指す
- ・住民が安心して利用できる河川水質の実現を目指す

(3) 目標水質

水質項目	BOD (75%値) (mg/L)	全窒素 (75%値) (mg/L)	全リン (75%値) (mg/L)	糞便性大腸菌群数 (平均値) (個/100mL)
樋渡橋	0.9	2.6	0.08	1,000
乙房橋	1.4	3.0	0.15	1,000
志比田橋	<u>2.0</u>	<u>3.6</u>	<u>0.25</u>	<u>1,000</u>
岳下橋	1.3	3.1	0.13	1,000

太字：計画策定当初の水質目標 (中間評価において樋渡橋、乙房橋、岳下橋を追加)

(4) 目標流量

地点	目標流量	備考
樋渡橋	18.0m ³ /s 以上	樋渡地点の1/10濁水流量

●行動計画の施策内容

(主な施策内容)

◇生活排水対策・・・下水道整備、農業集落排水整備、合併処理浄化槽整備

◇負荷源対策・・・家畜排せつ物対策、施肥対策、事業場排水対策

◇水辺空間の整備・河川環境の維持・・・河川清掃活動ほか

●これまでの協議会

